

児童室だより No. 68(2009. 7発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだものがたり・ちしきの本

本の情報	内容
<p>「しごとば」</p> <p>鈴木のりたけ作 ブロンズ新社 2009.3 【小低～】</p>	<p>美容師、新幹線運転士、すし職人、歯医者、パティシエなど、9つの職業の人のしごとばをイラストで紹介している。ふだん入ることのできない運転席やすしやのカウンターの中などをじっくりと見ることができる。歯を治してもらっているときはこわくて見ることができない歯をけずる道具もね。道具や機器の名前を知ることできるし、めずらしいものをいろいろと発見できるよ。</p> <p>(J366-スス-9635686)</p>
<p>「ポロポロゆうびん」</p> <p>竹下文子作 こばようこ絵 あかね書房 2009.4 【小低～】</p>	<p>あるひ、とむくんに、ポロポロとうという南の島にいて動物学者のおじさんから手紙がきた。さっそく返事をかき、ゆうびんきょくへもっていくと、返事がくるまで2しゅうかんくらいかかるかもしれないといわれてびっくり。どうしてそんなにかかるの？すると、ゆうびんきょくちょうさんが、「じぶんできてごらん。よくわかるから」と言って、とむくんのおでこに切手をはった。とたんに小さくなり、手紙になってしまったとむくん。ポロポロ島へのたびがはじまった。</p> <p>(J913-タケ-9649879)</p>
<p>「楽園に降った死の灰」 マーシャル諸島共和国 (シリーズ核汚染の地球 1)</p> <p>森住卓文・写真 新日本出版社 2009.3 【小中～】</p>	<p>マーシャル諸島共和国は日本から南4000キロの中部太平洋にある。29の環礁と5つの独立した島々からなる島国だ。島には車も電気もなく、乗り物は自転車とリヤカーだけ。島の人たちは朝日が昇ると起きて、夜暗くなると寝る。都会で見失った本当の幸せが、この島にはある。しかし、パラダイスと思っていた島にも放射能という悪魔が潜み、人々を苦しめている。美しい写真とともにマーシャル諸島の現実を見つめてみよう。</p> <p>(J369-モリ-9619360)</p>
<p>「椿先生、出番です！」</p> <p>花形みつる作 さげさかのりこ絵 理論社 2009.1 【小中～】</p>	<p>山の谷間にあるきんかん幼稚園は生徒15人の小さな幼稚園。先生は4年目で元不良の椿先生と、オペラ歌手を目指していたらしくすぐに歌いだすこの道30年の南天先生。誕生会のおやつに出すヨモギもちのヨモギを町中さがしまわったり、飼育している凶暴なニワトリと対決したり。先生と園児がひきおこす幼稚園でのゆかいなできごとを描いた、15のお話を収録。</p> <p>(J913-ハナ-9573458)</p>
<p>「ヘビのひみつ」 (ふしぎいっぱい写真絵本 14)</p> <p>内山りゅう写真・文 ポプラ社 2009.2 【小低～】</p>	<p>したをちよろちよろさせて、にようによろうとうごくへ。ちょっとぶきみで苦手な人もいるよね。だけど、ヘビにはおもしろいひみつがたくさんあるんだよ。どうしてきのぼりができるのか、どうして大きなえものをまるのみにできるのか、いろいろなことをこの本は教えてくれる。脱皮のようすやたまごをのみこむところなど、なかなか見ることができないヘビのひみつを写真で紹介。</p> <p>(J487-ウチ-9593791)</p>
<p>「あたしが部屋から出ないわけ」</p> <p>A.クーテュール作 末松氷海子訳 文研出版 2008.12 【小中～】</p>	<p>生まれてすぐにお母さんが死に、おばあちゃんに育てられた少女リュシー。おばあちゃんが病気になり、お父さんと新しいおくさんのイザベルと暮らすことになった。おばあちゃんのところへすぐもどるつもりでいたのに、おばあちゃんは死んでしまい、イザベルの出産のせいでお葬式にも出られなかった。何もかもが気に入らないリュシー。夏休み、サマー・キャンプに行かせようとする親に反抗し、自分の部屋にとじこもり、ストライキを開始した。</p> <p>(J953-ケテ-9554096)</p>

「発見！探検！工場見学」
(ものづくりの心を育み産業学習に
役立つ 1 食べ物の工場)

中村智彦監修
学研 2009.2
【小中～】

みんなが大好きな食べ物は、どうやって作られているの
だろう。1巻では、レトルトカレー、インスタントラーメ
ン、ふりかけ工場などを見学。材料から製品ができあがる
までの機械の作業を写真でわかりやすく紹介している。こ
のシリーズは全7巻。おもちゃや服、日用品、乗り物工場
も見学できる。7巻は工場見学に役立つ資料集で、各地の
見学場所の紹介、調べ学習のまとめ方がのっている

(J509-ハツ-9643042)

「永遠に生きるために」

サリー・ニコルズ作 野の水生訳
偕成社 2009.2
【小高～】

白血病を再発した11歳の少年サム。自分があと少しし
か生きられないことを知っている。でも、癌で自宅療養中
の友人フェリックスと一緒に勉強を習ったり、ふざけあっ
たりしているときはとても楽しい。ある日、先生に自分の
ことをノートに書くようすすめられたサムは、だれにも答
えてもらえない死についての質問や、やってみたいことな
ど心に思うまますべてをノートに書いていく。

(J933-ニコ-9573449)